

日本心エコー図学会教育委員会
地方における小規模講習会に関する報告

2019/9/4

教育委員会は、若手医師・技師への心エコー図学会の普及・啓蒙に努めるため、旭川市で開催された研修医向けの心エコーハンズオンセミナーを後援したので報告する。

1) 概略は以下の通り

講習会名 : 「第 21 回 HGCU 主催研修医向け心エコーハンズオンセミナー」
企画・主催 : 北海道心血管エコー研究会 (HGCU)
後 援 : 日本心エコー図学会
事務担当 : 旭川医科大学臨床検査医学講座
日 時 : 2019 年 8 月 31 日 (土) 14 : 00 ~ 18 : 10
会 場 : 旭川医科大学病院 3 階 輸血部カンファレンスルーム (講義)
旭川医科大学病院 2 階 心血管超音波検査室・心電図室 (ハンズオン実技)
対 象 : 初期研修医、後期研修医
参加者数 : 18 名 (定員 20 名に対し、27 名の応募あり。2 名欠席)
参加者内訳 : 初期研修医 1 年目 14 名、同 2 年目 3 名、後期研修医 1 名
内 容 : 初心者を対象とした心エコー図法の講義とハンズオン
エコー装置 : 4 台
被 検 者 : 健常者 4 名

2) 収支について

本講習会は、収入を参加者からの受講料のみとした独立採算制をとった。

3) プログラム

参加者を 4 グループに分け、1 グループを 4~5 人体制とした。前半は断層法と M モード法、及び探触子の操作法についての講義とハンズオン、後半はドプラ法と下大静脈の観察についての講義及びハンズオンとした。ハンズオンは 1 人あたり 15 分とし、予備の時間も含め各々 90 分とった。本セミナーでは、被検者のストレスにも配慮する時間配分、地方からも参加しやすいタイムスケジュールを心がけている。

4) 指導者について

赤坂 和美 (日本心エコー図学会心エコー図専門医、日本超音波医学会指導医)
竹原 有史 (日本超音波医学会専門医)
齊藤江里香 (心エコー図学会会員、日本超音波医学会専門医)
河端奈穂子 (心エコー図学会会員、日本超音波医学会専門医)

5) アンケートについて

セミナー参加者、及び指導者へのアンケートを行った。

セミナー終了後、参加者に①心エコー経験、②今回の参加理由、③講義内容、④実習内容、⑤今回の感想等についてアンケートを行い、参加者 18 名中 17 名から回答を得た。

【参加者アンケート結果】

Q1 心エコー経験	(%)	(人)
なし	23.5	4
少しだけある	76.5	13
日常的に使っている	0.0	0
Q2 今回の参加理由（複数回答可）		
当直時に活用したい	100.0	17
入院患者の診察時に活用したい	76.5	13
心エコーレポートの解釈が分かるようになりたい	64.7	11
その他	5.9	1
Q3 講義内容に関して		
ちょうどよい	70.6	12
難しい	29.4	5
とても難しい	0.0	0
Q4 実習内容に関して		
簡単	0.0	0
ちょうどよい	88.2	15
難しい	11.8	2
とても難しい	0.0	0
Q5 お気づきの点やご意見・ご感想		
<ul style="list-style-type: none"> ・ エコー操作の時間がもう少し欲しかった。 ・ 指導下でエコーをさわる機会がなかなかなく、苦手意識もありましたが、少し上達した気がします。忘れないうちに復習はしようと思います。 ・ スライドが速く、あまり分からなかった。事前学習にして全時間実習の方が良い ・ とても良質なエコーで、ハンズオンができてよかった。もう少しベッドサイドで活用できるVTIやTRPGなどを詳しく勉強できてよかったかなと思います。 ・ 何度やっても奥が深いと思わされます。もっともっとうまくなりたいと思いました。 ・ 5人1グループが丁度よく、他のメンバーの走査も見ながら学習できました。 ・ 直接指導いただける機会はなかなかないため貴重でした。今後の診療に活かしたいと思います。 ・ 大変勉強になりました。北見でも是非セミナーを開催して欲しい。 ・ 体系的で分かりやすかったです。 ・ また参加したいです。 ・ 心エコーを実際にする機会が今までなかったため、どういう風に動かせばいいかなど教えていただき、大変勉強になりました。自分の勉強不足でPart2の内容は難しく感じましたが、雰囲気をつかむことはできたので今後同期と練習してみようともいます。他の病院の研修医の先生方がエコーを普段行う機会があると言っていたので、自分達も救外で積極的にしようとして刺激をもらいました。貴重な機会を頂きありがとうございました。 		

【指導者からのコメント】

- ・ 短い時間にも関わらず、参加者の意識が高い為か技術の習熟が早く、予想より体験内容を濃くすることができたのはよかった。
- ・ 90分の時間の中で1人15分×5とするのもよい方法と思っていたが、一度やった後その中

でもう一回おさらいする時間が短くてもとれたほうが良いかもしれない。(4人グループだったので時間に少し余裕があったため実際にやってみて、やはり振り返りは有効だったと思う)

- ・ 計測等実際にやった結果を皆で比較し合ってもらったが、客観的に評価(自己)でき、よかったようだ。
- ・ 1人15分×2回のハンズオンはあっという間に時間が経ってしまうものの、参加してくれる研修医の先生方の負担を考えると現状が better なのだろうと思います。

6) まとめ

HGCUが毎年企画し開催している本セミナーは今回で第21回を迎えた。標準化の視点から、毎回同じ資料を使用し、同様の内容での講義とハンズオンを行うよう努めている。一方で、新しい情報を入手する方法が必要であり、その一方法として日本心エコー図学会のHPにおけるガイドライン、オンデマンド教育プログラムを紹介した。

北海道という地域性から、夏期は地方(旭川市、帯広市、函館市)で開催、交通事情に難のある冬期は札幌市において継続的に開催し、毎回一定の参加者がある。今回は応募開始5日で定員に達し、今回参加いただけなかった応募者には次回の開催案内を通知する予定である。被検者とお手伝いは医学部学生に依頼したことで、彼らも大変勉強になったとの感想を述べていた。

最後に、本セミナーが日本心エコー図学会教育委員会より後援をいただけたことに深く感謝申し上げます。

文責：旭川医科大学病院 臨床検査・輸血部 赤坂 和美

【セミナーの様子】

